

第 1 回 平塚市バリアフリー推進協議会 議事録

日時：平成 26 年 11 月 25 日（火）14 時～15 時 35 分

場所：平塚市役所 本館 7 階 710 会議室

議題

- (1) 平塚市バリアフリー推進協議会について【資料 1】
- (2) 特定事業等の進捗状況について【資料 2】
- (3) 平成 25 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
（バリア解消促進等事業）について【資料 3】
- (4) その他

出席者

所 属	氏 名	
関係行政機関 国土交通省関東運輸局 神奈川運輸支局	久世 真	
施設設置管理者	国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所 交通対策課	山田 利一 (代理)大森 武司
	国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所 大磯出張所	澤 健男 欠席
	神奈川県平塚土木事務所 道路維持課	池田 六大
	平塚市 道路管理課	荒川 薫
	平塚市 道路整備課	石井 利昌
	平塚市 みどり公園・水辺課	齊藤 義行 (代理)浦井 行博
	平塚市 総合公園課	大津 修
公安委員会関係者 平塚警察署 交通第一課	春日 夕子	
公共交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社	磯嶋 雅彦 (代理)榎本 聡
	神奈川中央交通株式会社	永山 輝彦
	株式会社湘南神奈交バス 平塚営業所	鈴木 伸 (代理)市川 大祐
	社団法人神奈川県タクシー協会 相模支部平塚地区会	若林 孝則 (代理)河原 貴治
関係団体 平塚市老人クラブ連合会	月本 孝光	欠席

関係団体	平塚市障がい者団体連合会	前田 美智子	
	平塚市民生委員児童委員協議会	赤坂 寅幸	
	平塚市自治会連絡協議会	八田 厚生	
	平塚市社会福祉協議会	竹澤 光史	欠席
	平塚市商店街連合会	常盤 卓嗣	
	平塚商工会議所	栗野 裕	
	神奈川県立 平塚盲学校	鈴木 剛	
市民	平塚市バリアフリー基本構想 策定時の公募委員	遠藤 和子	
		山上 徳行	
市職員	平塚市 交通政策担当部長	中村 正次	

【事務局】

所 属		氏 名
平塚市	交通政策課長	小林 岳
	交通政策課 主管	中嶋 孝之
	交通政策課 主査	鈴木 岳央

(1) 平塚市バリアフリー推進協議会について【資料1】

資料1を用いて、協議会の目的等及び協議会の今後のスケジュール(案)について、事務局から説明を行った。

【構成員】

平塚駅から歩いて市役所に行く場合に、歩道橋がある。その場合のバリアフリーはどう考えていくのか。計画はどうするのか。

【事務局】

今年策定したバリアフリー基本構想において、歩道橋のバリアフリー化を位置付けており、横浜国道事務所及び平塚市で協議を継続している。方向性は確定していないが、関係機関と調整をしている。

【構成員】

調整中とは歩道橋を無くす調整と思われるが、歩道橋を無くして横断歩道となった場合、国道1号は道幅が広いので信号機の音が鳴っていても視覚障がい者は真っすぐ

に渡れない。エスコートゾーンを併せて設置し、真っすぐ渡れるよう調整をお願いしたい。足の不自由な方は、歩道橋が無くなることでバリアフリーとなるが、それだけがバリアフリーではないこと。また、信号機の音が鳴ればバリアフリーが十分という訳ではないことを認識していただき調整願いたい。

【事務局】

歩道橋の撤去とは確定していないが、御意見について十分認識し調整する。仮に横断歩道の設置となった場合、エスコートゾーンの設置も含めてバリアフリー化を図っていきたい。

(2) 特定事業等の進捗状況について【資料2】

資料2を用いて、「平塚市交通バリアフリー基本構想（平成17年）」に基づいたバリアフリー事業の実績等について、各事業者から報告を行った。

【道路特定事業 横浜国道事務所 交通対策課】

【道路特定事業 神奈川県平塚土木事務所 道路維持課】

【道路特定事業 平塚市 道路管理課】

【交通安全特定事業 平塚警察署】

【公共交通特定事業 東日本旅客鉄道株式会社】

【公共交通特定事業 神奈川中央交通株式会社】

【公共交通特定事業 社団法人神奈川県タクシー協会】

【その他の事業 平塚市 交通政策課】

【構成員】

資料22ページの北口駅前広場バリアフリー化工事で、バス停へ平面で移動できるようになった。ここで、みずほ銀行から都まんじゅうまでのアーケードを撤去することが決まったことで、その下にあるバス停は雨に濡れながらバスを待たなくてはならない。MNビル側は、バスを降りてそのまま移動していくが、相当数の方がバス停で待っている状況の場所である。先程、段差を無くすことだけがバリアフリーではないという発言があったが、地下から上がる形をやめて平面でバス停に行けるようにしたことが良かったのか悪かったのか色んな意見が聞こえている。撤去した後にバス停の上屋を設置すれば良いという簡単なことではない。そのことをバリアフリーと考えるのかまちづくり全体のテーマとして考えるのか意見を伺いたい。

【事務局】

御指摘の件について、アーケードを撤去することが決定したことを受け、平塚市でバス停の上屋を設置する対応を進めているところである。雨の日には多くの方が並び歩道が狭くなっている状況に対して、バス事業者と協議しながら待ち合い環境を検討して進めていく。

【構成員】

まちに人を呼び込み、人を動かしていく中で、不便の無いようにしていきたい考え

がある。単純にバス事業者と協議して上屋をつけるという事ではなく、全体で市街地の問題について、議論する場が必要と考える。単純に放置自転車や商品が出ているという話ではなく、まち全体を安全に回遊するという視点で考える必要がある。

【座長】

このことについては、まち全体の議論となるので、関係部署も含めて議論するために持ち帰ることをお願いしたい。

【構成員】

平塚駅北口から駅前広場へ出るための駅ビルのエレベータへの案内が初めての人にはわかりづらい。

駅ビルの地下から駅前広場地下通路へ出る間の段差の解消はできないか。

駅北口横にある障害者用トイレへの経路がわかりづらい。

【事務局】

エレベータへの案内については、継続して行っている北口改札階から駅前広場へのバリアフリー経路の検討の中で協議していけると考える。地下通路の段差については、今年の6月にスロープが設置され、段差なく移動できる状態である。トイレへの案内については、基本構想のその他の事業に位置付けている案内情報施設や公共サインといった項目で今後進めていく。

【構成員】

バス事業者の進捗状況の中で、ノンステップバスの導入が進んでいることはありがたい。車外放送の行き先の案内を先にアナウンスして欲しい。バスのドアが開くと自動的に録音された音声案内が流れるようなものに変更できないか。運転手の音程の低い大きな声でアナウンスされると、音が割れてしまって聞き取ることができない。視覚障害の方だけでなく、知的障害の方や高齢で視力の低い方に対しても、音声案内が頼りであるのでぜひお願いしたい。

「青になりました」と一度だけ音のする音響式信号機は、方向がわからなく真っすぐ渡ることができない。騒音苦情の関係で、ピヨピヨ音響式よりも設置しやすいのかもしれないが、その場合エスコートゾーンも併せて設置していただきたい。

【構成員】

バスの車外放送に関しては、提案いただいたことについて早速検討していく。乗務員の車外マイクの使用について、接遇教育を日常的に行っているが、レベルが一定にならない点は認識しているので、今後も繰り返し研修を行うことで向上させていきたい。

【構成員】

運転手からの優先席の案内など、教育の成果が出て良くなっていると感じるが、先程の自動音声導入できれば、運転手はさらに安全運転に集中できるのではないかとと思う。

【構成員】

全ての横断歩道にエスコートゾーンを設置することは非常に難しいことである。この場で即答することはできないので要望として受ける。

【構成員】

視覚障害の方が、「青になりました」信号機を渡りにくいというのは、音を頼りに方向をとっているからで、一度だけの発音で方向をとることができれば良いが、非常に難しく、それができる人は少ない。そのことを補完する意味で、路面に道しるべがあると助かる。また、音響式信号機で音が広がることにより地域住民に影響がでることや、発音時間を制限するといったことがあるが、音が狭い範囲で直線的に進む超音波スピーカーが進歩しつつあるので、機器更新の際には検討いただきたい。

(3)平成 25 年度地域公共交通確保維持改善事業等補助金(バリア解消促進等事業)
について【資料3】

資料3を用いて、平成 25 年度のノンステップバス、UDタクシーの導入についての事業評価案の説明を行った。

【意見等なし 承認】

(4)その他

【構成員】

アーケード撤去の件について、どなたに対してもアーケードはあった方が良い。特に車いすの方は出歩けなくなってしまう。

【事務局】

商店街の管理しているアーケードが老朽化によって、現状のままでは危険な状態であり、商店街の検討の結果撤去することになったと聞いている。バス利用者への対応としてバス停上屋を設置することになっているが、日常的な利用者への対応を考えていない状況の中で、撤去という話になったと認識している。

【構成員】

老朽化しているのは間違いなく、そのままでは七夕の時なども危険であるので、組合で協議したがまとまらず、結果的に撤去となった。駅前広場改修の際にも、バス停がアーケードの下になり、一般のバス待ちの方が大勢並ぶ状況になるので、アーケード撤去について、商業観光課に持ちかけたが、そのまま現在に至っている。屋根だけ設置してそれで済む問題ではないと考えている。今後の日産車体跡地の開発もあるので、駅周辺の問題を考えるため、バス事業者とも改めて協議していきたい。

【構成員】

バス停に大勢の方が並ぶと、民地側にある点字ブロックもわかりづらくなってしまっているので、通行するにも難しくなることも考慮してもらいたい。

【構成員】

先程の議題にあった事業評価は毎年行うものなのか。ノンステップバスとUDタクシーだけが前面に出ているのだが。

【事務局】

バリアフリー基本構想に基づいて、各事業者が今年度作成する事業計画は、ノンステップバスの導入、UDタクシーの導入以外も含めて計画する。

議題にあった生活交通改善事業計画は、車両の導入に対する国の補助金の申請に必要であり、本協議会の承認を得るために議題とした。バリアフリー基本構想全体の事業計画と混同しないよう注意願いたい。

【構成員】

市内全域に言えることであるが、自転車車道走行は危険な場合があると感じる。歩道との段差でバランスを崩す高齢者もいる。また、電動のシニアカーで段差なく歩道を行けるのか疑問である。

【座長】

それらについては、今後の計画の中で、各管理者が検討していく。

【構成員】

平塚駅については、エスカレーターやエレベーターの設置などにより良くなっていると感じている。

【事務局】

先程の議題3で承認いただきました、平成25年度の事業評価について、神奈川運輸支局に提出いたします。

本日の会議資料及び会議録について、ホームページにて公開いたしますこと御承知願います。

以上